


| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------------------|--|---|---|---|---|---|---|-------------------|--|--|--|--|--|--|
| <p style="text-align: center;">千代田区立昌平小学校</p> | | 児童数と学級編成 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 学 年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 | | | | | | |
| 校 長 | 浅 岡 寿 郎 |  | | | | | | | | | | | | | |
| 副校長 | 吉 井 克 憲 | | | | | | | | | | | | | | |
| PTA会 | 齋 藤 美 明 | | | | | | | | | | | | | | |
| 所在地 | 〒102-0021 千代田区外神田 3-4-7 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 電 話 (3 2 5 1) 0 4 4 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| | F A X (5 2 5 6) 6 7 0 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 最寄りの駅 | J R 線 御茶ノ水, 秋葉原 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地下鉄 末広町, 新御茶ノ水, 湯島, 淡路町, 小川町 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 開校記念日 1 1 月 2 1 日 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

I 教育の概要

1. 学校・地域の特色

神田川をはさんで学区は大きく二つに分けられる。淡路町、須田町、小川町、駿河台一帯は銀行や老舗の飲食店などがあり、比較的落ち着いた町の様相を呈する。一方、外神田一帯は秋葉原を中心とする電気街の中心にあり I T 産業の町へと変貌を遂げようとしている。保護者は教育に対して関心がきわめて高い。住民には土地っ子が多く、何代にもわたって本校の卒業生であるという家庭も少なくない。したがって、町会などの地域団体も学校に対して大変協力的であり、連携した教育活動を行っている。

2. 教育目標

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神を基調として、確かな学力である、自ら学び、自ら考え、自ら表現する力を育成し、社会の変化に主体的に対応して行動できるようにするとともに、調和のとれた豊かな人間性を養い、「知恵と意思をもち、知・徳・体のバランスよい心身ともにたくましい児童を育てること」を目指し、以下の教育目標を設定する。

- 進んで学ぶ子 児童の個性や能力を生かし、基礎的・基本的知識・技能の習得及び活用を図るとともに、自ら考え解決し、伝え合うことによって論理的に考えを高める能力や態度を育成する。
- 思いやりのある子 児童が互いに認め励まし合う温かい心や、互いのよさに気付く豊かな感性を培うとともに、よりよい人間関係を築く能力や態度を育成する。
- ◎健康な子 基本的な生活習慣を確立し、自らの健康や体力について主体的に管理する能力や態度を育成するとともに、運動に親しむ態度を育成する。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

コミュニティスクールとして学校・家庭・地域が一体となり、教育活動全体を通して生命の大切さ、社会貢献の精神、豊かな人間性、社会性、自国や地域の伝統文化を尊重する精神と他国の文化を理解する態度を育む教育活動を推進する。そのために、ホームページ他の学校紹介ツールを活用したり教育活動内での協働を進めたりする等を通して三者が常に情報を共有し教育の質的改善を図るよう努める。

学習指導要領全面実施となる令和 2 年度の教育活動においては、新たな指導・評価計画を確実に進めることはもとより、カリキュラムマネジメントの視点からの教育内容の充実を図るようにする。また、子供たちと学習の目的を共有しながら「何ができるようになるのか」を明確にし、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を進め、その実践を通して新しい時代に必要となる資質・能力の育成を図ることを可能とする教育活動を進める。

- ア 生涯を通じて主体的・協働的・創造的に学び、考え、表現できる資質・能力を育てるために、学習環境としての館内掲示を工夫したり指導体制の工夫や読書をはじめとした言語活動の充実を図ったりして、学ぶ楽しさ、考える楽しさ、表現する楽しさを体験させる。
- イ 思いやりの心や規範意識、社会生活上のルールを守る等の社会性を育てるために、教育活動全体を通して、全ての児童が生命の大切さと人権尊重の精神を正しく理解する指導を行う。
- ウ 心身の健康を保持・増進する資質・能力を高めるために、保護者と協働した食育や様々な保健指導等の健康教育を推進する。また、充実した施設・設備を活用して運動の楽しさを味わわせ、健康行動の日常化を図り、総合的な体力向上を推進する。
- エ 様々な児童の実態に応じたきめ細かな指導を実現するために、関係諸機関と密に連携し、人間の多様性への共感によるインクルーシブ教育を推進する。
- オ 多彩な交流や体験、主体的な探究等によるオリンピック・パラリンピック教育を推進し、グローバル社会における日本及び他国の文化・伝統を尊ぶ精神を育み、多様性を受け止め、様々な価値観を尊重する心を醸

成するとともに、学校2020レガシーとして構築したものを持続可能な社会づくりに必要な力へと発展させていく。

カ 幼稚園・小学校の滑らかな接続ができるようにするために、スタートカリキュラムを通じた教育を充実させるとともに、意図的・日常的な交流活動や園児・児童理解を深める情報交換を計画的に行い、幼稚園・小学校9年間を通じた教育活動を推進する。

キ コミュニティスクールを十分に機能させ、充実した教育活動を通して全人的な成長を促すために、常に地域・保護者と協働しながら教育活動のPDCAサイクルを推進する。

ク 発達段階に応じた主体的な学びになる外国語活動を通じ、コミュニケーションを図る基礎となる能力を育成する。

ケ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、特別の教科道徳を道徳教育の要としながら全教育活動において道徳教育を推進する。

(3) 各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

○ チームティーチングや習熟度別少人数指導等の「指導体制の工夫」、ICT機器の積極的な活用等の「指導方法の工夫」、講師や支援員等との協働指導やモジュールの活用（短時間学習）等の「指導環境の工夫」等を通して個に応じた分かりやすい指導をますます充実させるとともに、放課後補習（ふれあいタイム）等も活用しながら一人一人の学習状況にあった学びを実現することで確かな学力を保証する。なお、3・4年生では短時間学習では国語科の基礎的資質を身に付けさせる時間として漢字学習を進める。

○ 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに主体的に学習に取り組む態度を養うために、教育活動全体を通じて実験・体験や外部人材の活用等も通じてアクティブラーニングを活性化させる学習環境を整えるとともに意見や考えを表現し合うような言語活動を充実させる。

○ 各教科等において身に付けた諸能力や人間性を発揮し、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図り、論理的思考（ロジカルシンキング）や批判的思考（クリティカル・シンキング）を促す主体的・対話的で深い学びを進める授業（学び）を実現する。

○ 学習規律や学習環境設定の徹底を図るとともに、めあての確認や振り返りを明確に行うことによる学習と評価の一体化を「昌平学習モデル」として日々の授業において進めることでメタ認知力や自己評価力を高めるとともに学び方を身に付けさせ、補習教室での学習や家庭学習での学びを自ら構築し、学習習慣が確立されるようにする。

○ 運動特性に触れることで快（体を動かす心地よさ）に気付き、基本的な身体機能をセルフコントロールする力を身に付けさせることができる体育科指導を充実させる。（昌平学習モデルとして共有する。）

○ 集団行動、ラジオ体操、全校行事（ドッチビー大会、持久走大会、縄跳び大会）等、年間を通じて計画的に指導する。春に実施する体力調査の分析から課題解決に資する指導を進めて秋に効果検証を実施するまでの継続的な指導を進める。屋上校庭や体育館、芳林公園での遊びの環境（鬼ごっこ、タグラグビー等）を意図的に設定しておくこと等により日常遊びを活性化させることで「運動の日常化」を図り、豊かなスポーツライフを実現するための基礎的資質を身に付けさせるようにする。

○ 栄養士による給食を教材とした食育や、学級活動を主体とした「健康行動の日常化を図る指導」（「早寝早起き朝ご飯」の奨励や歯磨き指導、うがい手洗いや教室の換気等の指導）を進め、自律的に健康行動が進められるようにする。

イ 特別の教科 道徳

○ 道徳教育については教育活動全体を通じて行うとともに、要としての「特別の教科道徳」を行う。

○ 特別の教科道徳の時間においては、道徳的価値の理解を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、善悪の判断・自立・自由と責任、親切・思いやり、友情・信頼、相互理解・寛容、公正・公平・社会正義を重点価値項目とし、各教科・総合的な学習の時間及び特別活動との関連を図りながら、豊かな体験活動を重視した活動を行う。

○ 実施にあたり問題解決的な学習等を通して論理的・批判的思考を促すように配慮し、結果として物事を多面的・多角的に考え、判断し、表現し、自己の生き方についての考えを深めることができるように、さらにはこれからの課題や目標を見つけることができるようにする。

○ 見取りと評価については学習の記録としてポートフォリオ的手法を通してこれを蓄積し、授業時の見取りとともに変容をきめ細やかに確かめるようにする。

- 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生かし、豊かな心をもち主体的に生きる力を育むために、道徳授業地区公開講座をはじめとして積極的に道徳教育を地域・保護者に伝え、社会総がかりでの人格形成に資するようにする。
- 実施に当たっては心の教育コーディネーターに指導を仰ぐことで本区に求められる子ども像を実現する取組となるように配慮するとともに、道徳教育推進教師を中核とした組織対応により全教職員による教育活動全体を通じた指導となるようにする。

ウ 外国語活動・外国語

- 言語や文化について体験的に理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度や伝えあう力の素地を養うために、授業ではコミュニケーションの目的を明確にした場面設定を通じた活動を行わせるとともに、英語の音声や語彙、表現などの知識を実際の日常場面でも活用するようにする。
- 第3・4学年における外国語活動の充実を図るとともに、第5・6学年における指導においては第3・4学年の外国語活動並びに中学校英語科の指導との接続に配慮したものとする。また、第5・6学年における外国語については五つの領域別に設定された目標の実現を目指した指導を進めることとする。
- 国際教育推進教師を中心とした全職員による組織的で具体的な取組について英語活動コーディネーターを活用しながらOJTを実施し、担任とALTの協働の在り方や指導方法の工夫等について知見を深めるとともに実践的指導力の向上を図る。
- 5・6年生では短時間学習ではデジタル教材を活用し、継続して英語に親しみコミュニケーションを図ることができるようにする。

エ 総合的な学習の時間

- 他教科等で身に付けた資質・能力を相互に関連付け、学習や生活の中で総合的に働く力を育てるために、自然体験や社会体験等の探求的な学習を進めさせ、主体的・協働的な学び方やものの考え方を身に付けさせる。なお、その過程においてはコンピューターや情報通信ネットワークを適切かつ効果的に用いさせ、情報活用能力を高めさせる。

オ 特別活動

- よりよい学校づくりに参画し、互いのよさを認め協力して活動していこうとする自主的・実践的な態度を育てる為に、学級、委員会、クラブ、たてわり班等の様々な集団の中で、人とのかかわりを深める活動を行う。
- 社会奉仕の精神や集団への所属感、責任感を養うために、ボランティア活動や清掃活動など、あらゆる場面で異学年の交流を重視した教育活動を充実させる。
- 学級活動では当番活動や係活動などを通して、学級の生活づくりに主体的にかかわり、自らの役割を自覚しながら生活をよりよくしようとする姿勢を育て、一人一人のキャリア育成と自己実現を図る。

3 年間行事計画

| | | | |
|---------|--|---------|---|
| 4 月 | 始業式 入学式 保護者会 1年生を迎える会 | 5 月 | 区達成度調査 プール開き |
| 6 月 | 奉仕活動 全校運動日(体力テスト) 6年箱根移動教室 | 7 月 | 終業式 夏季休業 4年岩井臨海学校 個人面談 |
| 8 月 | 夏季休業 夏季水泳教室 | 9 月 | 始業式 昌平スポーツフェア 保護者会 プール納め |
| 10 月 | 就学時健康診断 5年孺恋自然体験交流教室 | 11 月 | 奉仕活動 開校記念日 開校30周年記念式典及び祝賀会 開校記念集会・作品展 |
| 12 月 | 個人面談 終業式 冬季休業日始 | 1 月 | 冬季休業日終 始業式 席書会 書き初め展 |
| 2 月 | 学校保健委員会 道徳授業地区公開講座 新1年生保護者会 6年生を送る会 | 3 月 | 卒業を祝う会 保護者会 大掃除 修了式 卒業式 春季休業日始 |

II 沿革の概要

| | | | |
|------------|---|------------|---|
| 明 8.11. 4 | 神田小川町1番地に開校、当時小川小学校と称す | 安政4. 1.18 | 清水家侍臣金子政成が外神田牛込袋町に家塾を開き、加賀藩主前田齋泰が芳林堂と命名、芳林小の前身となる |
| 明 11. 2.26 | 小川女子小学校と校名変更(錦華小学校と男女児入れ替え本校は女子のみ収容) | 明 6. 2. | 第5大区4小区内幼童学所と改称、東京府下私立小学校のさきがけとなる |
| 明 11.10. 1 | 現所在地に移転 | 明 7. 2. | 第1大区第5中学区第7番小学に編入、3月旧名を冠し芳林小学校と改めた |
| 明 32. 5. 9 | 東京市淡路女子尋常高等小学校と校名変更 | 明 19.12. | 私立芳林尋常高等小学校と改称 |
| 明 41. 4. 1 | 東京市淡路女子尋常小学校と校名変更(高等科児童全員神田高等小学校へ移籍) | 明 42.12.22 | 木造2階建新校舎竣工 |
| 明 44. 3.23 | 新校舎落成(木造3階建) | 明 43. 2.25 | 公立小学校として開校式挙行 |
| 明 44. 4. 1 | 東京市淡路尋常小学校と校名変更(男児も収容する) | 大 12. 9. 1 | 関東大震災により校舎の大半焼失 |
| 大 12. 9. 1 | 校舎全焼(関東大震災) | 昭 3. 4.25 | 現校舎新落成式挙行 |
| 昭 2. 3.22 | 新校舎落成 | 昭 6. 9. 1 | 区立芳林幼稚園併設 |
| 昭 6. 9. 5 | 淡路幼稚園創設 | 昭 15. 8. | 芳林箱根高原学校を開校 |
| 昭 16. 4. 1 | 淡路国民学校と校名変更 | 昭 18. 7. 1 | 東京都芳林国民学校と校名変更 |
| 昭 19. 8.26 | 集団疎開児童、埼玉県北葛飾郡へ出発(昭20.11.19引揚げ) | 昭 22. 4. 1 | 東京都千代田区立芳林小学校と校名変更 |
| 昭 22. 4. 1 | 東京都千代田区立淡路小学校と校名変更 | 昭 30. 2. 4 | 学校図書館の実践的研究の発表会を開催 |
| 昭 43.10. 7 | 全国保健体育優良校として表彰される(日本学校体育研究連合会・文部省より) | 昭 35.10.10 | 理科研究発表会開催 |
| 昭 44. 6.27 | 健康教育研究発表会(体力づくりをめざした体育指導、遊びの指導) | 昭 39. 2. 6 | 社会科研究発表会開催 |
| 昭 50. 6.19 | 区研究協力校、ならびに創立百周年記念として国語研究発表会を行う | 昭 40.11.12 | 体育館兼講堂落成 |
| 昭 50.11. 5 | 創立百周年記念式典および祝賀会を挙行 | 昭 41. 4. 6 | 千代田区科学教育センター設置 |
| 昭 59. 2.20 | 区研究協力校発表会(自ら考え筋道立てて解決する力を育てる指導一算数科の指導を通して一) | 昭 45. 2.25 | 開校60周年記念式典挙行 |
| 昭 60.11. 2 | 創立百十周年記念式典および祝賀会を挙行 | 昭 47.11.14 | 全国造形教育研究発表会開催 |
| 平 2.11.30 | 東京都安全優良学校として表彰される | 昭 49.11.15 | 区研究協力校、全国放送教育研究会公開授業校(道徳) |
| 平 4.11.26 | 区研究協力校発表会(自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童の育成) | 昭 54.10.26 | 区研究協力校、国語研究発表会 |
| | | 昭 55. 2.22 | 創立70周年記念式典挙行 |
| | | 昭 59. 2.24 | 第一回菅公祭記念式典挙行 |
| | | 昭 60. 2.22 | 創立75周年記念式典 第二回菅公祭挙行 |
| | | 昭 60.11.22 | 区研究協力校発表会「めあてを持って進んで学ぶ子供の育成」 |
| | | 昭 63.11.25 | 文部省調査研究校・区協力校指定「生活に根ざした教育活動の推進」公開発表会 |
| | | 平 2. 2.24 | 創立80周年記念式典挙行 |
| | | 平 4. 2.28 | 文部省調査研究校「社会の変化に対応した新しい学校運営等に関する調査研究」発表 |

《新生 千代田区立昌平小学校の概要》

| | |
|--------------|---|
| 平 5.4.1 | 学校設置条例の改正に伴い、千代田区立昌平小学校となる(12学級 男子157名 女子140名 計297名) |
| 平 5.11.21 | 校歌、校章を制定し、開校記念日とする |
| 平 5.11.19~21 | 校歌、校章制定記念学芸会を開催する |
| 平 8.2.9 | 東京都小学校体育研究会発表大会「自らの健康に関心をもち、よさや可能性をのばす体育学習」 |
| 平 8.9.28 | 新校舎落成式 |
| 平 8.9.30 | 新校舎授業開始 |
| 平 8.10.7 | マラソン選手有森裕子氏、バスケットボール選手マイケルジョンソン氏来校 |
| 平 9.2.14 | 区教育委員会研究協力校研究発表会「自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童の育成一互いのよさを認め合う体育学習一」 |
| 平 11.2.19 | 区教育委員会研究協力校研究発表会「自ら学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童の育成一かかわりあいを通して一」 |
| 平 11.10.14 | アジア教育使節団訪問(アラファト・パレスチナ自治政府長官来校) |
| 平 12.4~14.3 | 区教育委員会情報教育推進校 |
| 平 13.9.8 | アラブ首長国連邦教育関係者来訪 |
| 平 14.11.29 | 夢の課外授業(巨人軍工藤公康投手来校)開催 |
| 平 15.1.24 | 平成13・14年度区教育委員会研究協力校研究発表会「豊かな学びを創る」 |
| 平 15.2.25 | 「Mr. ビル・ゲイツ子どもたちに科学の夢を語る」講演会開催 |
| 平 15.5.13 | セネガル共和国大統領夫人来校 |
| 平 15.8.21.22 | ブロードバンドスクールサマーキャンプ2003 |
| 平 15.11.21 | 開校10周年を祝う会を挙行 |
| 平 16.3.12 | 開校10周年記念「昌平のようこそ先輩(麻実れい氏来校)」開催 |
| 平 17.1.27 | 夢の課外授業(巨人軍仁志敏久選手来校)開催 |
| 平 18.1.27 | 平成16・17年度区教育委員会研究協力校研究発表会「学んだことを活かし考える力を育てる授業づくり」 |
| 平 20.2.20 | 夢の課外授業(永井美奈子アナウンサー)開催 |
| 平 21.1.23 | 平成19・20年度区教育委員会研究協力校研究発表会「自分の考えをもち自ら表現できる児童の育成」 |
| 平 24.11.22 | 平成23・24年度区教育委員会研究協力校「自分の考えをもち、互いに学び合い高め合う児童の育成」 |
| 平 25.7.16 | 平成25年度東京都スポーツ教育推進事業「夢と希望を結ぶ「1日校長先生」(元全日本バレーボール選手齋藤信治氏)開催 |
| 平 25.11.23 | 開校20周年記念式典及び祝賀会を挙行 |
| 平 26.2.26 | 夢の課外授業(EXEILE NETHMITH氏 TETUYA氏来校)開催 |

| | | |
|---|----------|---|
| 平 | 26.11.18 | 平成26年度オリンピック・パラリンピック推進教育1日校長先生車いすテニスプレイヤー 堂森佳南子氏 来校 |
| 平 | 27.12.4 | 平成26・27年度区教育委員会研究協力校研究発表会「認め合い高め合う昌平の子」童話作家きむらゆういち先生ご講演 |
| 平 | 29.2.23 | 夢の課外授業・パラリンピック教育事業「シッティングバレー」開催 |
| 平 | 29.11.2 | 厚生労働大臣童夢館視察のため来校 |
| 平 | 30.11.30 | 平成29・30年度区教育委員会研究協力校研究発表会「論理的思考力を高め学び合う児童の育成」 |
| 令 | 3.4.1 | 令和3・4年度千代田区教育委員会研究協力校「自分の思いをもち、主体的に学習に取り組む児童の育成」 |
| 令 | 5.1.27 | 令和4年度千代田区教育委員会研究協力校研究発表会 |
| 令 | 5.4.1 | 令和5・6年度東京都教育委員会体育健康教育推進校指定 |
| 令 | 5.11.25 | 開校30周年記念式典及び祝賀会を挙げる |